

A 1 5 1 中 級 (TV 聴講あり)	<h1>企業における商標実務</h1> <p>～事例から学ぶ商標制度と商標部門の役割～</p>
講 師	小山 雅夫 (元 カシオ計算機株式会社 知的財産センターブランド戦略室長)
日程・場所	東京本会場 → TV会場：JPDS 名古屋、大阪、九州各営業所 5月20日(金)、11月18日(金)
時 間	1日間 (10:00～16:00) // 昼休憩 11:45～12:45
アクセス	https://www.jpds.co.jp/company/access.html
定 員	東京本会場：24名 // TV会場：各会場共10名 (先着順申し込み)
受講料	本会場：20,000円 (税別22,000円)、TV会場：16,000円 (税込17,600円)
対 象	知的財産部門、商品企画・マーケティング部門の実務者向
内 容	
<p>企業ブランドが注目される中、ブランドを保護する商標権の重要性が高まっています。本セミナーでは、企業での商標実務経験豊富な講師が、商標保護の目的、識別性判断、事前調査、出願手続き、活用時の注意事項等、企業の商標担当にとって必要不可欠な基本事項について、事例を交え、分かり易く解説いたします。</p> <p>これから商標実務を担当する方、すでに商標を担当していて更に知識を深めたい方等、企業の商標実務にご興味のある方に最適なセミナーです。</p>	
プログラム	
1. 身近な知財＝商標はなぜ保護が必要なのか 2. 商標の識別性判断の重要性と留意点 ・事例を交えて識別性判断の重要性 ・使用による識別性獲得とは ・他の商標登録の要件 3. 商標はなぜ事前調査が必要なのか ・特許・意匠などとの違い ・調査方法の概要と留意点 4. ネーミングの基礎 ・商品避及し類否・識別性回避のネーミング 5. 商標と社名との違い	6. 商標出願の基礎と手続きの流れ 7. グローバルな保護と活用 ・マドプロ ・米国 ・中国 8. 商標権の活用と留意点 ・商標ライセンス ・権利活用 9. 未登録な商標の保護が必要な場合 ・事例から制度の特徴や対応方法 10. 商標部門の役割

【お申込み】

当社ホームページよりお申し込みください。 URL: <https://www.jpds.co.jp/seminar/application.html>

【備考】

セミナーご参加の方で事前にご質問や特に説明をお聞きになりたい内容がございましたらお申出下さい。セミナー当日に可能な限りお答えさせていただきます。

【日本弁理士会継続研修について】

本研修は、日本弁理士会の継続研修としての認定を申請中です。本研修を受講し、所定の申請をすると、外部機関研修として単位が認められる場合があります。ただし、TV会場での聴講の場合には継続研修の認定対象外となります。